

目次

浅見克彦	時間 SF と「決定論的」世界	——009
上野俊哉	Toward a Trans-Local Encounter within Philosophy : Gilles Deleuze and Toshihiko Izutsu	——027
川間哲夫	デザインへの記号論的アプローチ—事例研究 2	——041
坂井弘紀	16 世紀のノガイ = オルダ (2) —カラサイ、カジとアディルに焦点をあてて	——052
永澤 峻	『パリ詩篇』中の「ダヴィデ伝」挿絵図像サイクルに関する覚書 —《獅子を打ち倒すダヴィデ》挿絵 (fol.2v) 中に見出される 古代風のモチーフの問題を手がかりとして	——071
服部敬史	朝鮮の鎌—韓国三国時代を中心とした鉄製鎌の様相	——093
半田滋男	日本型パブリック・アートと美術館の機能に関する考察	——120
一柳富美子	音楽と言葉—芸術音楽における旋律とロシア語の統音論序説	——132
[学生論文]		
渋谷展子	ゴッホが肖像画と風景画に求めた宗教的な象徴性 —宗教性のこめられた近代的な肖像画	——152
殿岡 泉	17 世紀オランダの画家ニコラース・マースの 女性たちを主人公として描いた風俗画の再検討	——167